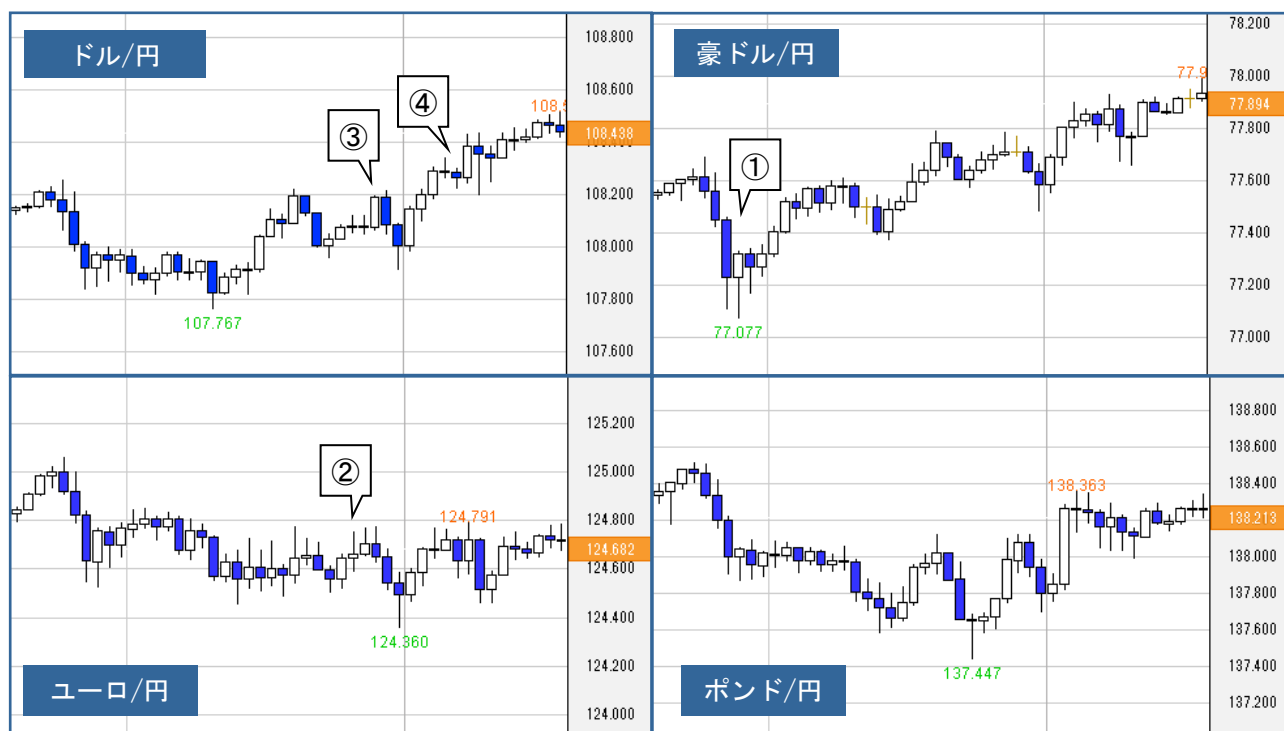


1月11日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、107円台のサポートを確認

10日(木)の為替相場



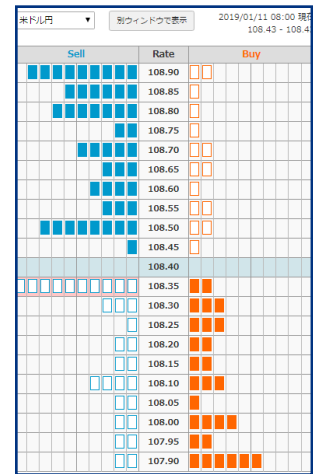
期間: 10日(木)午前7時10分~11日(金)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 中国12月消費者物価指数は前年比+1.9%と予想(+2.1%)を下回り前回(+2.2%)から鈍化。同生産者物価指数は前年比+0.9%と予想(+1.6%)を下回って前回(+2.7%)から大幅に鈍化し、2年3カ月ぶりの低水準となった。
- ② 欧州中銀(ECB)理事会の議事録が発表され、「2019年の成長見通しを下方修正したこと自体がユーロ圏経済へのリスクの高まりを認めたことになる」との認識や「下方修正したことで、その後の見通しに対するリスクバランスは概ね均衡した」と判断したことが示された。また、一部メンバーが金融機関向けの新たな資金供給オペに関する議論を行うよう求め、「今後について、貸出条件付き長期資金供給オペ(TLTRO)の金融政策スタンスへの貢献を再検討すべきとの意見が出た」とする内容も明らかとなった。
- ③ 米新規失業保険申請件数は21.6万件と改善予想(22.6万件)をさらに下回る好結果となった(前回は23.3万件)。
- ④ パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長がインタビューで「FRBは立ち止まって観察し、辛抱強く柔軟にいられる」とした一方、「景気後退のリスクが高まっている気配はない。バランスシートを正常に戻したい」として金融引き締め継続を示唆した。この発言が伝わるとドル買いが強まった。

10日(木)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20163.8 ▼263.26	5795.270 △16.981	2535.098 ▼9.247	6942.87 △36.24	10921.59 △28.27
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24001.92 △122.80	0.0240% ▼0.0080	2.317% ▼0.010	1.274% △0.014	0.255% ▼0.024
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5755% △0.0226	2.7421% △0.0320	52.59 △0.23	1287.40 ▼4.60	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	107.900-109.000	124.100-125.300	77.300-78.400	137.500-138.900

【ドル/円】

昨日のドル/円相場は、108円割れから持ち直す底堅い展開。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が、追加利上げには慎重ながらもバランスシートの縮小継続に前向きな姿勢を示した事から、ドルを買い戻す動きが広がった。一時107.70円台に下落していたドル/円は108.50円台まで緩やかに反発した。

改めて107円台後半のサポートを確認した格好で、次は109円のレジスタンスを再び試すターンへと入りそうだ。ただ、米政府機関の一部閉鎖など不透明要因がくすぶる中ではドル買いに弾みはつきにくいと見られ、レジスタンスの突破には一段の買い材料が必要となろう。

注目イベントは、NY市場で発表される米12月消費者物価指数。FRBが「インフレ高進の兆候はない」としているため、予想を大きく外れた結果にならない限りドル/円相場へのインパクトは大きくないと見るが、米中貿易戦争の影響が滲んでもおかしくないところでもあろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/11(金)	17:20		(ユーロ圏)メルシュECB専務理事、講演	—	—
	18:30		(英)11月貿易収支	-33.00億GBP	-28.00億GBP
	18:30		(英)11月鉱工業生産(前月比)	-0.6%	+0.2%
	18:30		(英)11月製造業生産(前月比)	-0.9%	+0.4%
	18:30		(英)11月国内総生産(GDP)(前月比)	+0.1%	+0.1%
	22:30	◎	(米)12月消費者物価指数(前月比)	±0.0%	-0.1%
	22:30	◎	(米)12月消費者物価指数(前年比)	+2.2%	+1.9%
	22:30	◎	(米)12月消費者物価指数(コア・前年比)	+2.2%	+2.2%
	25:00		(ユーロ圏)ビスコ・イタリア中銀総裁、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。